



2021年度

愛知県SDGs政策パッケージ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2021年3月

愛知県

目 次

I 趣旨	1
II 推進体制	2
III 本県の主な施策	3
(1) 貧困をなくそう	
(2) 飢餓をゼロに	
(3) すべての人に健康と福祉を	
(4) 質の高い教育をみんなに	
(5) ジェンダー平等を実現しよう	
(6) 安全な水とトイレを世界中に	
(7) エネルギーをみんなに そしてクリーンに	
(8) 働きがいも経済成長も	
(9) 産業と技術革新の基盤をつくろう	
(10) 人や国の不平等をなくそう	
(11) 住み続けられるまちづくりを	
(12) つくる責任 つかう責任	
(13) 気候変動に具体的な対策を	
(14) 海の豊かさを守ろう	
(15) 陸の豊かさも守ろう	
(16) 平和と公正をすべての人に	
(17) パートナースhipで目標を達成しよう	
IV 参考	20

I 趣旨

- 愛知県は 2019 年 7 月に内閣府から「SDGs 未来都市」¹に選定されたことを受け、同年 8 月に策定した「愛知県 SDGs 未来都市計画」に基づき全庁を挙げて関連施策を推進しています。

- また、2020 年 11 月には、SDGs と同じ 2030 年を目標年度とする長期計画として、あいちビジョン 2030 を策定し、このビジョンに基づいて、SDGs の理念を踏まえた各種の施策を推進していきます。
このビジョンでは、「地域づくりの推進に当たっての横断的な視点」の一つとして、SDGs の達成への貢献を掲げ、経済・社会・環境の 3 側面にわたる重要政策の着実な実施を通じて、SDGs の達成に貢献していくこととしています。

- 本パッケージは、2021 年度に県が取り組む様々な施策を 17 のゴール(目標)ごとに整理することでそれぞれの施策に関連するゴールを明確化し、SDGs の達成に向けて、全庁一丸となって施策を進めるため作成しているものです。

- なお、本パッケージに記載のある取組は、県の主要な取組の一部を記載したものです。また、複数のゴール(目標)に資する取組がほとんどですが、取組を実施することにより達成される主要なゴール(目標)により整理を行っています。

¹ SDGs の理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として選定されるもの

Ⅲ 本県の主な施策



あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ

生活困窮者の早期の自立に向けて、住まいの確保や就労に向けた支援に取り組むほか、新型コロナウイルス感染症の影響により増加する生活困窮者の相談に対応できるよう、相談支援員を増員し、相談支援体制の強化に取り組みます。

ひとり親家庭においては、子どもの教育や生活環境が不安定になることで貧困の連鎖を生み出す可能性があることから、福祉事務所に配置する母子・父子自立支援員による総合的な相談対応を始め、県営住宅への優先的な入居などの生活支援や、専門機関における就業支援などを行います。

また、子どもの貧困対策として、児童養護施設等で生活する児童への大学等進学に要する準備金の支給や子ども食堂の開設経費等の補助をはじめ、学習支援や居場所の提供などを行います。



ひとり親に理解のある企業による合同説明会



愛知県子ども食堂マップ

【本ゴール（目標）の達成に向けた主要な取組】

取組名	主な取組内容	担当局等
生活困窮者自立支援事業	相談支援員の増員による相談体制の強化	福祉局
母子家庭等の自立支援対策	ひとり親家庭等に対する就業支援、日常生活支援	福祉局
子どもが輝く未来基金事業	児童養護施設等で生活する児童への大学等進学に要する準備金の支給・子ども食堂の開設経費等の補助	福祉局
子どもの学習・生活支援事業	生活困窮世帯等の子どもに対する学習支援や居場所の提供	福祉局



飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

高品質安定生産を実現し、生産性向上を推進するため、ドローンやICT等の先端技術の現地実証を行うとともに、スマート農業技術の現場への迅速な普及拡大を図ります。

また、農地の大区画化や汎用化などによる生産基盤の整備とともに、老朽化した水路や用排水機場などの農業水利施設や農道などの機能が確保されるよう、長寿命化を推進します。

作物の高付加価値化やブランド化を進めるため、農業総合試験場において開発した新品種の栽培技術の定着や販売PRなどに取り組みます。

畜産分野における生産力強化のため、畜産クラスター計画に基づく施設整備への助成を行います。



ドローンによる生育診断



大区画化された農地でのキャベツ栽培（田原市）

【本ゴール（目標）の達成に向けた主要な取組】

取組名	主な取組内容	担当局等
スマート農業推進事業	ICT等の先端技術を活用したスマート農業の実証	農業水産局
産地パワーアップ事業	国際競争力強化に向けた産地の生産力向上に必要な施設整備等への支援	農業水産局
土地改良事業	農地の大区画化や汎用化、農業水利施設や農道の長寿命化	農林基盤局
愛ひとつぶブランド化推進事業	愛知の新ブランド米「愛ひとつぶ」のブランド化の推進	農業水産局
畜産競争力強化対策整備事業費補助金	畜産クラスター計画に基づく施設整備への助成	農業水産局



あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

高齢者、障害者、子どもなどの各分野を超えて市町村が相談支援などの取組を一体的に行う重層的支援体制の整備を支援します。

心身ともに健康で自立した生活を続けられるよう、良好な食生活や適度な運動などの生活習慣づくりに取り組むとともに、がんセンターにおいて、難治がんや罹患患者数の多いがんを主な対象として、ゲノム解析を基盤とした重点プロジェクトに取り組みます。また、市町村、関係機関、民間団体と連携し、自殺やひきこもりなど「心の健康」の問題にも適切に対応します。

高齢者の孤立を防ぎ、医療や介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていくため、医療・介護・予防・生活支援・住まいを一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を進めます。

新型コロナウイルス感染症に対しては、国、近隣県及び市町村、医療関係者などと連携協力しながら感染症対策を推進します。



あいち健康チャレンジ



健康管理や生活習慣の改善を支援するアプリ

【本ゴール（目標）の達成に向けた主要な取組】

取組名	主な取組内容	担当局等
重層的支援体制整備事業	市町村における分野を超えた包括的な支援体制整備に対する支援	福祉局
健康長寿あいちの推進	「健康日本 21 あいち新計画」に基づく生活習慣病対策の総合的な推進	保健医療局
県立病院事業	がんセンターにおける次世代のがん予防と医療の創出	病院事業庁
「心の健康」の推進	自殺やひきこもりなど「心の健康」の問題への対応	保健医療局
地域包括ケアの推進	高齢者の社会参加を促進する「通いの場」のモデル事業の実施	福祉局
新型コロナウイルス感染症対策	ワクチン接種体制の整備、医療提供体制の確保、県民相談窓口の設置	感染症対策局



すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

少人数によるきめ細かな指導体制を構築するため、小学校第1学年・第2学年・中学校第1学年で実施している35人学級を小学校第3学年に拡充します。

自分らしい生き方や夢の実現に向けた見通しを持てるよう、職場体験やインターンシップなど発達段階に応じたキャリア教育に取り組みます。

ICT環境の整備を強力に進め、インターネットを利用した学習支援など、オンラインによる教育環境を充実させるとともに、あいちグローバル・ハイスクールの推進等により児童生徒の英語コミュニケーション能力の向上を図ります。

また、外国人児童生徒への支援体制の充実に向けて、外国人生徒等教育支援員の配置や小型通訳機の配置を進めます。

さらに、学習環境や通学環境の改善に向けて、特別支援学校の整備を進めます。

そのほか、若者・外国人未来応援事業の実施や、学習支援を行う居場所の提供など、教育の機会を確保するとともに、スクールカウンセラー等の配置、24時間体制の電話相談対応の実施など、相談支援体制の充実を図ります。



「あいちの教育」シンボルマーク



ICTを活用した教育

【本ゴール（目標）の達成に向けた主要な取組】

取組名	主な取組内容	担当局等
少人数学級の拡充	小学校第3学年 35人編制の導入	教育委員会
キャリア教育推進事業	発達段階に応じた勤労観・職業観を育む各学校段階での系統的な取組	教育委員会
ICT活用教育推進事業	ICTを活用した教育の研究を推進するモデル校を定め、研究成果を普及	教育委員会
あいちグローバル人材育成事業	英語力の強化などによるグローバル人材の育成	教育委員会
外国人生徒等支援員設置事業	外国人生徒等教育支援員や小型通訳機の配置	教育委員会
特別支援学校の整備	にしお特別支援学校の建設、岡崎特別支援学校移転に向けた実施設計、知多地区聾学校分校設置に向けた実施設計	教育委員会
若者・外国人未来応援事業	高卒認定試験合格のための学習支援拠点の整備など	教育委員会
心豊かな児童生徒育成推進事業	スクールカウンセラー等の設置	教育委員会



ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女兒のエンパワーメントを図る

女性を始めとした様々な主体の参画により、多様な視点や価値観が取り入れられ、地域経済など様々な分野の発展が期待される中で、働く場における女性の定着と活躍の拡大を図るため、新たに、中学校・高校・大学等において、固定的な性別役割分担意識にとらわれないキャリアプランについて考える出前講座を実施します。

また、モノづくり企業における女性管理職登用にに向けた取組を促進するため、新たに企業の人事担当者等で構成する研究会を設置し、課題や対応事例を調査・研究するとともに、好取組事例や効果的な手法を発信します。

さらに、企業における女性活躍の好事例、活躍する女性のロールモデルを県内外の若年女性に向けて発信するとともに、女性起業家の事業拡大に対して支援します。



「あいち女性輝きカンパニー」認証ロゴマーク



あいち女性の活躍促進サミット

【本ゴール（目標）の達成に向けた主要な取組】

取組名	主な取組内容	担当局等
キャリアプラン早期育成事業	固定的な性別役割分担意識にとらわれないキャリアプラン形成のための出前講座の開催	県民文化局
モノづくり企業女性管理職登用推進事業	モノづくり企業における女性管理職登用にに向けた調査・研究、情報発信	県民文化局
企業魅力発信事業	女性活躍企業の魅力発信	県民文化局
あいち・ウーマノミクス推進事業	あいち・ウーマノミクス研究会の開催、女性起業家の事業拡大への支援	経済産業局



すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

安全で安定した飲み水を供給するため、水質検査を含む維持管理や水道施設の老朽化対策に取り組むとともに、地震等災害時にも安定供給ができるよう地震等の災害に強い施設及びシステムの整備に取り組みます。また、生活排水等の処理により公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を図るため、下水道施設の整備及び運営、単独処理浄化槽及び汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換を一層促進します。

長期的な視点に立ち計画的な水資源を確保するため、水源林の造成や森林整備に取り組むとともに、基幹的な水利施設の改築・改修の推進を図ります。そのほか、県民に広く水に対する関心を高めてもらうため、次世代を担う中学生を対象とした「水の作文コンクール」などを実施します。



犬山浄水場



矢作川浄化センター

【本ゴール（目標）の達成に向けた主要な取組】

取組名	主な取組内容	担当局等
水道事業の運営、施設の整備	市町等が行う水道事業への水道水の供給及び水道施設の整備	企業庁
流域下水道事業の運営、施設の整備	流域下水道の管渠整備及び処理場の整備・運営	建設局
浄化槽設置費補助金	個人の浄化槽設置に係る補助に加え、市町村の公共浄化槽設置に係る補助を追加	環境局
木曾三川水源造成公社事業費貸付金	木曾三川の水源地域の森林整備、上流地域への水源林の造成	農林基盤局
水資源の安定確保に係る調整・啓発	水資源の確保や合理的な水利用に係る調整、「水の作文コンクール」の実施	建設局



すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

環境・新エネルギー関連企業の育成や誘致に向けて、知の拠点あいち内の実証研究エリアにおける技術の実用化に向けた支援や、情報収集、情報発信、普及啓発などの取組を実施します。

また、水素社会の実現に向け、産学行政の協働で、低炭素水素サプライチェーンの事業化支援に取り組むとともに、水素ステーションの整備・運営に対する補助や、燃料電池産業車両の導入に対する補助の実施などに取り組めます。

さらに、温室効果ガス総排出量の削減に向け、スマートハウスやZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）といった環境に配慮した建築物の普及促進を行います。



知の拠点あいち「実証研究エリア」



愛知県庁水素社会普及啓発ゾーン

【本ゴール（目標）の達成に向けた主要な取組】

取組名	主な取組内容	担当局等
実証研究エリア管理運営事業	新エネルギー・環境関連技術等の実用化支援、情報発信、普及啓発	経済産業局
水素エネルギー産業社会形成パイロット事業	水素エネルギー社会の形成に向けた気運醸成、プロジェクト推進	経済産業局
低炭素水素サプライチェーン事業化の推進	推進策の検討、事業化の支援、広域化に向けた調査	環境局
水素ステーション整備促進事業	水素ステーションの整備・運営や燃料電池産業車両導入に対する補助	経済産業局
住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金	住宅用太陽光発電、家庭用エネルギー管理システム等に対する市町村との協調補助	環境局



すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する

本県産業の振興と雇用の維持・創出に取り組むため、産業空洞化対策減税基金を活用し、県外企業の新規立地や県内企業の再投資、企業等の行う研究開発や実証実験を支援します。

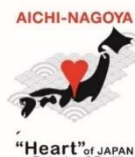
また、きめ細やかな金融支援により、中小・小規模企業の企業力の強化を図ります。

観光コンテンツの高付加価値化を進めるとともに、世界中からジブリパークを訪れる観光客を県内での宿泊や周遊に導き、県内の観光関連産業の振興及び地域の活性化につなげます。

県民一人一人が自らの望むように働き、その能力を発揮することができるよう、働き方を柔軟に選択できる環境づくりに向けて、テレワークを始めICTの活用の促進や企業等への働き方改革の普及啓発などを実施します。

就職氷河期世代の就職等を社会全体で支援する気運の醸成を図るとともに、リカレントフォーラムを通じて、社会人受け入れ等の充実の働きかけなどを行います。

さらに、仕事のやりがいと、生活の充実の好循環が図られた社会づくりを推進できるよう、地域一体となってワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組を進めます。



愛知県観光 PR 用ロゴマーク



「愛知県内一斉ノー残業デー」街頭啓発活動

【本ゴール（目標）の達成に向けた主要な取組】

取組名	主な取組内容	担当局等
産業空洞化対策減税基金事業	高度先端分野における大規模な工場等の設備投資に対する支援	経済産業局
中小企業金融対策貸付金	県内中小企業者の資金繰りに対する支援	経済産業局
あいち「ツウ」リズム推進事業	質の高い旅行商品の造成・販売など愛知の観光の高付加価値化の推進	観光コンベンション局
ジブリパーク周遊観光促進事業	ジブリパークを活用した県内周遊観光の促進	観光コンベンション局
働き方改革の推進	テレワークの導入促進等「新しい働き方」に対応した企業の働き方改革の支援	労働局
雇用維持特別対策事業	地域別就職面接会やインターネットを活用した合同企業説明会の開催	労働局
就職氷河期世代への支援	就職氷河期世代の就職支援、リカレントフォーラムの開催	労働局 教育委員会



強靱（レジリエント）なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る

リニア中央新幹線の全線開業に伴い、三大都市圏が約1時間で結ばれて一体化するスーパー・メガリージョンの形成が期待される中、名古屋駅のスーパーターミナル化を推進するとともに、名古屋駅からの40分交通圏拡大に向けた検討を進めます。

さらに、中部国際空港が国際拠点空港としての役割を十分に発揮していくために必要不可欠な二本目滑走路の整備を始めとする機能強化に向けて取り組みます。

また、MICE開催を通じて地域の競争力を向上させるため、Aichi Sky Expoを最大限に活用した誘致活動を行います。

さらに、スタートアップ中核支援拠点「ステーションA i」の供用開始に向けて整備を進めていくとともに、自動運転技術を活用した新しいモビリティサービスの実現をめざすほか、航空宇宙分野では、「あいち・なごやエアロスペースコンソーシアム」による地域一体となった販路開拓・人材育成等の総合的な航空宇宙産業振興を実施します。

また、デジタル技術の活用を推進するため、経営者対象のセミナーや、企業内でデジタル化を推進する人材を育成する研修会の開催などに取り組みます。



自動運転実証実験



スタートアップ支援拠点

【本ゴール（目標）の達成に向けた主要な取組】

取組名	主な取組内容	担当局等
リニア中央新幹線の推進	名古屋駅スーパーターミナル化、名古屋駅からの40分交通圏拡大を目指した取組	都市・交通局
中部国際空港の二本目滑走路の整備促進	中部国際空港の二本目滑走路の整備を始めとする機能強化に向けた取組の推進	都市・交通局
展示会産業振興基金事業	「Aichi Sky Expo」で官民連携組織が実施する事業の運営費の支援	観光コンベンション局
ステーションA iプロジェクト推進事業	スタートアップ中核支援拠点「ステーションA i」の整備	経済産業局
自動運転社会実装推進事業	自動運転を活用した新たな移動サービスの実現に向けた実証実験の実施	経済産業局
航空宇宙産業振興事業	「あいち・なごやエアロスペースコンソーシアム」による地域一体となった販路開拓・人材育成支援	経済産業局
デジタル技術活用促進事業	経営者セミナー、企業内でデジタル化を推進する人材育成研修会の開催	経済産業局



国内および国家間の不平等を是正する

障害のある人が地域で自立した生活を営んでいくために、福祉施設から地域生活へ円滑に移行できるよう、グループホームの世話人の確保や、地域生活を体験する機会の提供を行います。

また、日常生活や社会生活において円滑に意思表示やコミュニケーションを行うことができるよう、手話通訳者や要約筆記者の養成・派遣など意思疎通支援体制の充実を図っていくとともに、障害のある人のアート作品を展示するあいちアール・ブリュット展の開催など、障害のある人の文化芸術活動を支援します。

さらに、日本での生活に対して不安や悩みを抱える外国人県民が、地域の中で安心して暮らすため、新たに来日した外国人県民が日本の習慣やマナー、生活者としての日本語を習得するための「早期適応研修」のためのカリキュラムや教材、指導書の普及に向けた取組を行います。

そのほか、地域における多様性に関する学習機会を充実させるため、あいち人権啓発プラザにおける普及啓発活動などを行います。



あいちアール・ブリュットのロゴマーク



ヘルプマーク



愛知県多文化共生シンボルマーク

【本ゴール（目標）の達成に向けた主要な取組】

取組名	主な取組内容	担当局等
障害者地域移行推進事業	グループホームの世話人の確保、グループホーム等での地域生活体験	福祉局
障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用促進	手話通訳者などの意思疎通支援者の養成や派遣	福祉局
あいちアール・ブリュット推進事業	あいちアール・ブリュット展の開催	福祉局
外国人県民早期適応推進事業	早期適応研修のカリキュラム、教材、指導書の普及	県民文化局
人権教育・啓発に関する愛知県行動計画の推進	あいち人権啓発プラザの運営、啓発パンフレットの作成・配布	県民文化局



都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱（レジリエント）かつ持続可能にする

全国からの応援人員や物資等の支援を円滑に受け入れ、被災地域へ供給する「基幹的な防災拠点」の整備に向けた取組を推進するほか、地震対策として、住宅や建築物の耐震化の促進を始め、社会インフラの耐震性強化や津波対策を着実に推進します。

また、大規模災害が発生した場合でも、経済活動の停滞を最小限に留めるため、あいち・なごや強靱化共創センターにより、企業の防災力強化を支援します。

さらに、交通事故のさらなる減少を目指し、県民総ぐるみの地域に根ざした交通安全県民運動を推進するとともに、自動車の安全運転装置及び自転車ヘルメットの購入補助などを実施します。

そのほか、中部国際空港島や周辺地域を中心にスーパーシティ構想を推進するとともに、三河山間地域における関係人口^{*}の創出・拡大及び移住・定住を促進するため、都市部在住者と三河山間地域をつなげる手法を検討するとともに、首都圏等在住者を対象としたオンライン交流体験ツアーなどを行います。

^{*} 関係人口：移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと。



愛知県の「基幹的な防災拠点」の機能



交通安全県民運動

【本ゴール（目標）の達成に向けた主要な取組】

取組名	主な取組内容	担当局等
広域防災後方支援拠点機能の整備の推進	「基幹的な防災拠点」の整備に向けた取組の推進	防災安全局
民間住宅・建築物耐震診断・改修費補助金	住宅・建築物の耐震診断・改修の費用への補助による耐震化の促進	建築局
産学官連携地域強靱化推進事業	「あいち・なごや強靱化共創センター」の運営	防災安全局
交通安全の推進	交通安全県民運動の実施、条例の施行、自動車安全運転支援装置や自転車ヘルメットの購入補助	防災安全局
スーパーシティ構想の推進	スーパーシティの基本構想の策定及びビジネスモデルの検討	政策企画局
あいちの山里関係人口創出事業	都市部在住者と三河山間地域をつなげる手法の検討、首都圏等在住者を対象としたオンライン交流体験ツアーの実施	総務局



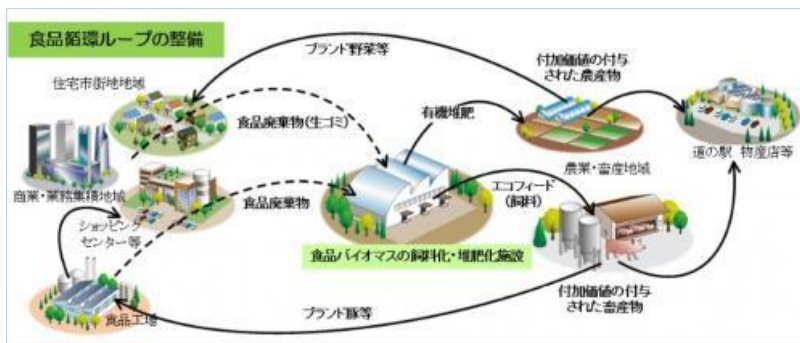
持続可能な消費と生産のパターンを確保する

地域ポテンシャルを活かし、資源循環モデルの展開や循環ビジネスの振興などの取組を進め、循環型社会の形成に向けた地域循環圏づくりに取り組みます。

使い捨て型社会から循環型社会への転換を図っていくため、国際的に問題となっているプラスチックごみへの対策を始め、食品ロスの削減や公共事業におけるリサイクル資材の率先利用など、県民や事業者、行政による3Rの取組を推進していくとともに、廃棄物の優良処理業者の育成など、廃棄物の適正処理に向けた取組を推進します。

また、持続可能な社会の形成に貢献する消費者を育成するため、人や社会、環境に配慮した消費行動であるエシカル消費の理念や意義について広く普及啓発し、理解の促進を図ります。

さらに、愛知県版地産地消の取組である「いいともあいち運動」の展開などにより、県民の県産農林水産物に対する理解促進や地産地消を進めます。



新たな広域循環モデル例
「地産地消の推進と一体となった食品循環ループの整備」



家庭向け食品ロス削減リーフレット

【本ゴール（目標）の達成に向けた主要な取組】

取組名	主な取組内容	担当局等
循環型社会形成の推進	次期あいち地域循環圏形成プランの策定、持続可能な社会づくりのリーダーの育成	環境局
廃棄物処理計画の推進	あいちプラスチックごみゼロ宣言を踏まえた普及啓発、食品ロス削減対策の実施	環境局
エシカル消費の普及促進	エシカル消費普及促進イベント等の開催	県民文化局
地産地消の推進	「いいともあいち運動」の展開や食品コンテストの開催	農業水産局



気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

県民一人一人に省エネ・環境負荷低減を優先したライフスタイルが定着することをめざす「あいち COOL CHOICE」県民運動を、市町村等と一体となって拡大するとともに、エネルギー消費の少ないまちづくりを推進するため、環境性能に優れた次世代自動車の普及促進に取り組みます。

また、環境と経済が調和した活力ある産業社会を構築するため、低炭素水素サプライチェーンの事業化支援などに取り組みます。

さらに、県内の気候変動の影響や適応に関する情報収集、地域への情報提供などを行うことで、県民や事業者など各主体による適応への取組を促進します。



エコアップブック抜粋



EV、PHV用充電インフラ

【本ゴール（目標）の達成に向けた主要な取組】

取組名	主な取組内容	担当局等
あいち地球温暖化防止戦略2030の推進	温室効果ガス削減に向けた「あいち COOL CHOICE」県民運動の推進、愛知県気候変動適応センターによる情報提供	環境局
次世代自動車の普及の促進	EV・PHV・FCVの普及促進のため、導入補助、普及啓発事業の実施	環境局
低炭素水素サプライチェーン事業化の推進（再掲）	再生可能エネルギーを活用した「低炭素水素サプライチェーン」の事業化の推進	環境局



海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用
する

全国有数のアサリ生産を始めとした本県の水産業を支える伊勢湾・三河湾及び渥美外海の生産性を高めるため、干潟・浅場や魚礁漁場、貝類増殖場の造成及び漁業生産に必要な栄養塩の確保に取り組みます。

また、県内水産業が将来に向けて持続的に発展できるよう、のり養殖業における魚や鳥の食害の防除対策を支援するとともに、漁港の整備などを推進します。

さらに、生態系を含めた海洋環境の悪化や海岸機能の低下などを引き起こす海洋ごみへの対策として、発生原因を踏まえた発生抑制のための啓発等を行うとともに、市町村における円滑な海洋ごみの回収・処理の支援に取り組みます。



魚礁の設置



海洋ごみ発生抑制普及啓発リーフレット

【本ゴール（目標）の達成に向けた主要な取組】

取組名	主な取組内容	担当局等
あさりとさかな漁場総合整備事業	あさり漁場となる干潟・浅場やさかな漁場となる魚礁の総合的な整備	農業水産局
貝類漁業生産緊急対策事業	浅海域のあさり漁場における砕石を利用した貝類増殖場の造成	農業水産局
のり養殖食害防止対策事業	魚や鳥による食害被害を受けているのり養殖漁家の支援	農業水産局
海岸漂着物等地域対策推進事業	海岸漂着物等の調査及び発生抑制のための普及啓発や回収等に対する市町村への支援	環境局



陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る

本県の自然環境や生物多様性を保全・再生するため、優れた自然環境を有する地域の保全や絶滅危惧種の保護、侵略的外来種の対策を進めます。また、県全域で多様な生物の生息生育空間を確保する「生態系ネットワークの形成」と「生物多様性主流化の加速」からなる「あいち方式 2030」に、企業、NPO、県民等の様々な主体と協働して取り組みます。

また、ユース世代を核とした多世代連携や、県内各地域の多様な主体の連携による保全活動を促進するため、ユースを支援する「生物多様性 あいち学生プロジェクト」を推進するとともに、多世代フォーラムを開催します。

さらに、森林や都市の緑が有する多面的機能の維持・向上のため、県内の森林、里山林、都市の緑の整備、保全に取り組むとともに、都市部を中心とした木材利用促進などに取り組みます。

そのほか、「自然の叢智」をテーマに 2005 年に開催された愛知万博の理念と成果を次世代へ継承するとともに、その会場となった愛・地球博記念公園について、将来にわたって愛され、後世に引き継がれる公園とするため、ジブリパークの整備を 2022 年秋の開業に向けて推進します。



COP14 (2018年：エジプト)



©Studio Ghibli

ジブリパーク「青春の丘エリア」基本デザイン

【本ゴール（目標）の達成に向けた主要な取組】

取組名	主な取組内容	担当局等
あいち生物多様性戦略 2030 の推進	あいち方式 2030 に基づく 10 項目の重点プロジェクトの推進	環境局
生物多様性 SDGs 推進事業	ユースによる保全活動の支援、多世代フォーラムの開催、生物多様性保全活動の促進	環境局
あいち森と緑づくり事業	森林、里山林及び都市の緑の整備・保全の推進	農林基盤局
ジブリパークの整備	ジブリパークの整備による愛知万博の理念の継承	政策企画局



持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する

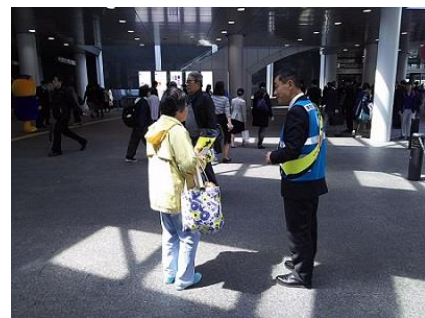
犯罪防止に対する気運を高め、安全に安心して暮らせる社会の実現をめざして、関係自治体、地域住民、企業団体等が連携して、地域が一体となった取組を推進する「県民総ぐるみ運動」を展開します。また、若者世代の地域防犯への参画促進や自主防犯団体の設立促進・活動支援に取り組みるとともに、防犯カメラの普及を始めとした防犯環境の整備を促進します。さらに、再犯防止対策を推進するとともに、犯罪被害者等が再び平穏な生活を営むことができるよう、経済的負担の軽減を図るための制度を創設します。

あわせて、特殊詐欺や侵入盗、自動車盗、サイバー犯罪を始め、子どもや女性、高齢者を対象とした犯罪など、県民の安全・安心を脅かす犯罪について、意識啓発・情報提供活動等の防犯対策を実施します。

また、児童虐待の防止対策の強化として、専門の中核機関である児童相談センターの専門職員の増員や、職員の専門性の向上、弁護士との連携などにより児童相談センターの体制強化を図るとともに、市町村における相談支援体制の整備を支援します。



夏の安全なまちづくり県民運動



「特殊詐欺被害防止の日」啓発活動

【本ゴール（目標）の達成に向けた主要な取組】

取組名	取組内容	担当局等
安全なまちづくりの推進	四季の県民運動や県民大会の開催、自主防犯活動・再犯防止対策の推進、犯罪被害者等の支援	防災安全局
警察活動の充実	暴力団の壊滅、交通死亡事故の抑止、犯罪への対処をはじめとする、安全な愛知の確立に向けた取組の推進	警察本部
児童虐待対策の推進	児童相談センターにおける体制強化など児童虐待対策の推進	福祉局



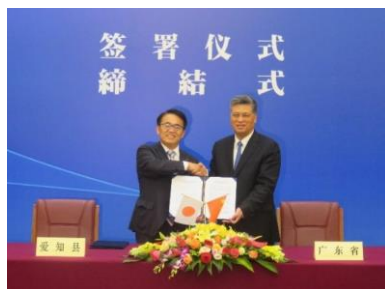
持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

世界の各地域との交流、連携を継続、発展させるため、国や地方政府、海外大学等と幅広い分野での交流を推進するとともに、海外サポートデスク等において、海外展開への意欲のある県内企業を支援します。

また、2026年に開催予定の第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）に向け、開催機運醸成に向けた広報・PRなどを行うとともに、SDGsを推進するイベントや国際会議の開催・支援などを通して、多様な主体との連携を推進し、SDGs達成に向けた本県の取組を国内外に発信します。

さらに、外国人県民が地域の中で安心して暮らすため、あいち医療通訳システムの普及を促進するとともに、大規模災害の発生時には、多言語による情報提供や被災市町村に対する翻訳・通訳支援を行います。

そのほか、新たな芸術を創造し、世界に発信するため、2022年の国際芸術祭「あいち2022」開催に向け、広報PR活動やプレ事業を実施します。



広東省との友好提携締結



第20回アジア競技大会チラシ

【本ゴール（目標）の達成に向けた主要な取組】

取組名	取組内容	担当局等
あいち国際戦略プラン2022の推進	グローバルパートナーシップ戦略の推進による海外の国等との連携	政策企画局
アジア経済連携推進事業	海外サポートデスク等の設置	経済産業局
第20回アジア競技大会の推進	第20回アジア競技大会開催に向けた取組	スポーツ局
SDGs AICHI EXPO 2021の開催	多様な主体のパートナーシップの構築、県内全域へのSDGsの普及浸透の促進	環境局
SDGs 関連国際会議の支援	国土交通省、環境省等が主催するSDGs 関連国際会議の支援	政策企画局
多文化共生社会づくりの推進	愛知県災害多言語支援センターの運用、「あいち医療通訳システム」の運営支援	県民文化局
国際芸術祭「あいち2022」開催準備	アーティスト選定等の企画準備や広報PR活動、プレ事業の実施	県民文化局

IV 参考

2030年のあるべき姿（愛知県SDGs未来都市計画より）

2027年度のリニア中央新幹線の東京―名古屋間開業により、首都圏から中京圏に及ぶ人口5千万人規模のリニア大交流圏が誕生することになります。そのインパクトを最大限生かし、世界の中で存在感を発揮する大都市圏をつくっていきます。

とりわけ、本県の最大の強みである「産業力」を生かしながら、経済・社会・環境の三側面における調和のとれた、活力と持続力を兼ね備えた大都市圏を目指します。

①（経済）世界をリードする日本一の産業の革新・創造拠点

本県のモノづくり産業の集積がさらなる集積を呼び、革新的な技術が次々と生み出されていきます。それにより、環境負荷の低い次世代自動車や航空機、ロボットなどの開発・生産が進んでいきます。また、新たなことにチャレンジする意欲を持った若者が集まり、世の中に変革を起こすスタートアップが輩出されていきます。

さらに、本県の農林水産物のブランド力が高まるとともに、先端技術を活用した生産性向上などにより、競争力のある農林水産業が展開されていきます。

②（社会）人が輝き、女性や高齢者、障害のある人など、すべての人が活躍する愛知 人口減少、高齢社会が進行していく中、男女問わず、若者から高齢者まで、さらには、障害の有無や国籍にかかわらず、多様性を認め合いながら、誰もが活躍し、全員参加で支える社会が実現していきます。

③（環境）県民みんな未来へつなぐ「環境首都あいち」

暮らし・地域・経済活動などあらゆる場面において、環境に配慮した行動が、意識しなくても自然になされており、その結果、安全で快適な暮らしが確保されるとともに、環境と経済が高い水準で良好な状態に保たれた、魅力ある地域を実現していきます。さらにこうした魅力を、国内のみならず世界へと発信することにより、より多くの人や企業をこの地域へ惹きつけていきます。